

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス レインボー大島教室		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 23日		～ 2025年 1月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	44名	(回答者数) 32名
○従業者評価実施期間	2024年 12月 23日		～ 2025年 1月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 16日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	定期的にイベントの開催で、体験を増やしていき、違う時間帯の児童とのふれあいをしている。	季節を意識することが出来る様になっている。 教室内では動きが限られているので、近くの公園に行って粗大運動を行っている。 そのための実際の生活にも活かせるようにルールなども決め、ルールを守る事の大切さも行っている。	現行より、もっと四季で行えることをイベントだけではなく、日常の支援でも増やせる様にしたい。
2	利用児の関係機関との連携を定期的に行っている。	利用時に保護者と話をすることで、学校での様子や今後の支援についての話を関係機関と連絡を取ることが出来る。	引き続き継続していくこと。 今後新1年生に関して、通っている園や児童発達支援事業所とも事前の連携は取っているが、入所後の連携も取っていきたい。
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	半年ごとのお知らせを出しているが、参加や認知ができていない部分がある	『レインボー通信』としてのお知らせは定期的に出すことは出来ているが、もう少し事前に連絡することで予定を立てやすいのではないかとと思われる。	『レインボー通信』は今まで通りに定期的に出し、その前の事前に連絡・保護者の知りたい事等を聞いたり、アンケートを取ったりして、保護者や利用児の『知りたい』を集める。
2	コロナで中止したままの保護者会等の保護者同士で交流する機会を設けることが出来ていない。	コロナで中止になったまま、日々の支援で保護者と事業所とでは話をする機会があったが、保護者間でのやり取りが出来る機会を設けることが出来なかった。	まずは、日程を決めて自由に参観ができるようにすることを企画し、保護者が参加しやすいことを考える。 保護者同士でやり取りを希望されているかのアンケートを取り、現状把握を行い、保護者会が出来る様にしたい。
3			